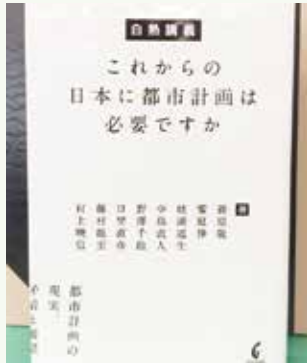




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『白熱講義 これからの日本に都市計画は必要ですか 蓑原敬ほか7名 共著 (学芸出版社)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



この本は、「都市計画とは何か」という本質的な問題について、8名の著者による問いと議論の応酬をライブ形式でまとめた内容になっています。

著者は、国内外の都市計画に詳しい蓑原敬先生と、気鋭の若手研究者7名によって構成され、「都市計画にマスタープランは必要か?」「コンパクトシティは暮らしやすい街になるか?」など、都市計画の原論に立ち返った問題に対して、専門家の幅広い知見に基づく議論が展開されています。

この本は、都市計画に関する多くの「問い」を通じて、都市のあるべき姿を考えさせられると同時に、都市計画の奥深さと面白さを堪能できる一冊となっています。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

太田市 市街地整備課 高田 直樹



高田 直樹さん

私は平成25年度の群馬県主催パートナーネットワーク講座を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。本講座では、実際にまちを歩き、地域の潜在的な問題点を発見する眼を養い、問題について体系的に捉えていくという非常に創造的な思考を学びました。グループとして問題について取りまとめ、段階を踏んで思考を掘り下げ、課題解消への方向性を検討していく作業の難解さを痛切に実感しました。ただ、そうした話し合いにおいても、ファシリテーターが効果的に作用することで、グループとしての力を最大限に引き出し、限られた時間の中でも、最大効果を発揮することができるということがよく分かりました。

昨今の土地区画整理事業を取り巻く環境は大きく変化しており、太田市の土地区画整理事業においても事業の長期化等の問題が懸念されている地区があり、柔軟な対応が求められています。こうした状況下で今後の事業の進捗においては、地域の現状を踏まえた土地区画整理事業の見直し等の検討課題もあり、これまで以上に、地元地域の皆様への情報提供に努めるとともに、地域の皆様とよく話し合い、ご要望に応じていく機会も増えてくると思われます。そうした際には、ファシリテーターとしてはまだまだ力不足ですが、本講座で学んだ様々な経験やファシリテーションの技術を活かし、地域の皆様と協働し、事業の早期完了を図り、より良い事業にしていきたいと思っております。講師の木下先生、アシスタントの滝沢さん、受講生の皆様、事務局の皆様には本当にお世話になりました。魅力的な皆様方と受講ができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。



講座の様子



講座の様子

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流を終えて・・・

高野 健一 (桐生市→群馬県都市計画課都市計画係)

平成26年4月より人事交流職員として県都市計画課に配属され一年が経ちました。

都市計画への所属は初めてのため、不安ではありましたが、課の皆様のおかげで無事終えることが出来ました。

業務では、景観や屋外広告物に関する基礎的な知識、他県や市町村の取り組み状況、県の立場での国や市町村との関わり合いなど、県で無ければ味わえない経験をさせていただきました。

今後は桐生市に戻りましても、この一年で学んだことを活かせるよう頑張りたいと思います。大変にお世話になりました。

柴田 直人 (吉岡町→群馬県都市計画課都市計画係)

平成26年4月から始まった人事交流研修も、今思えばあっという間に過ぎていった1年でした。勤務初日は1年って長いなと思い、緊張して通勤したことを思い出します。

配属された都市計画課のみなさんには、右も左も分からない自分の面倒を見ていただきました。また各市町村のご担当者さまにおかれましては、ご多用の折、照会等にご対応いただきました。みなさんのお力添えがあって、1年業務をこなせました。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

今年1年で培いました経験、知識及び繋がりを今後も大切にしていきたいです。また微力ではありますが、更なる吉岡町の発展に役立てるよう業務にあたりたいと思います。

今後も皆様とは、会議等でお会いするかと思いますので、よろしく願います。

